

第24回 関東地方ダム等管理フォローアップ委員会 議事要旨

1. 日 時 平成27年12月18日（金）14：30～17：00
2. 場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館 14階「災害対策本部室」
3. 出席者 宮村委員長、池田委員、池谷委員、岡島委員、柏谷委員、
清水委員、知花委員、林委員、森泉委員
4. 議 事 (1) 鬼怒川上流ダム群の定期報告
(2) 宮ヶ瀬ダムの定期報告
(3) 草木ダムの定期報告
(4) 下久保ダムの定期報告
(5) 滝沢ダム建設事業の事後評価
(6) 武蔵水路改築事業モニタリング委員会の設置について

5. 主な意見

(1) 鬼怒川上流ダム群の定期報告について

（委 員）流木の捕捉はダムのもう1つの大きな効果である。流木捕捉量は処分量と混同しないよう精査すること。

（事務局）流木については記載内容を精査する。

（委 員）洪水調節のまとめは、定期報告の5年間と今年の洪水実績を分けて整理すること。

（事務局）洪水調節のまとめを分けて整理する。

(2) 宮ヶ瀬ダムの定期報告について

（委 員）水源地域動態について、整備した施設を人々がどのように活用し地域が活性化しているのか良い事例であるので、ノウハウを他で紹介していただきたい。

(3) 草木ダムの定期報告について

（委 員）植物プランクトンの発生状況において、平成26年の藍藻類が突出している理由について記述すること。

（事務局）記述を追記する。

(4) 下久保ダムの定期報告について

（委 員）動物調査の主な確認種について、今後は地域的な特徴を反映した選定の工夫が必要。

(5) 滝沢ダム建設事業の事後評価について

(委員) 洪水調節の効果において、洪水被害の軽減について誤解を与えないような記述に修正すること。

(事務局) 記述を修正する。

(委員) ダム建設による環境への負荷や改善などの評価については、今後の議論に期待したい。

(6) 武蔵水路改築事業モニタリング委員会の設置について

(委員) 荒川合流後の下流域の生態系についても検討が必要である。

(事務局) 武蔵水路と同様に検討する。

(7) その他

(委員) 維持管理は非常に大事なことであり、これまで重要視されていない部分があることから、今後フォローアップで議論できると良いと思う。